

I-DreaM岡山 (I型糖尿病患者会) を開催しました!



内科主任医長 利根 淳仁

8月21日(日)に第10回 I-DreaM岡山 (I型糖尿病患者会) が開催されました。I-DreaM (ワンドリーム) 岡山とは、インスリン治療を行う I型糖尿病の患者さん、友人、ご家族、医療従事者がともに集う場として発足した患者会で、年に2回(1月、8月)開催されています。コロナ禍のため、第8回以降はZoomによるオンライン開催となっています。

I型糖尿病は、主に免疫が関与することにより膵臓のインスリンを出す細胞(β細胞)が破壊されてしまう病気で、若者を中心に幅広い年齢層で発症します。日本での患者数は約10～14万人、有病率は約0.09～0.11%(人口10万人あたり約100人)と考えられています。このような比較的まれな病気では、周囲から病気に対する理解が得られにくかったり、孤独感を感じながら治療と向き合うことも多く、同じ悩みを抱える仲間が集まり交流する「ピアサポート」はとても重要な機会です。

第10回となる今回もオンライン開催でしたが、当院スタッフ17名も含め、会を支える世話人のメンバーが当院に集結し、オンライン患者会を配信し

ました。今回は岡山県を中心に、兵庫県、広島県、四国各県、鳥取県など幅広い地域から67名の方にご参加いただきました。まず、当院医師の利根淳仁から最新のインスリンポンプについての情報提供を行い、続いてビキニフィットネスに挑戦する患者さんの体験談、特別講演としてご自身もI型糖尿病患者である名古屋市立大学の服部麗先生の講演があり、後半は小グループに分かれてテーマ別のグループディスカッションを行いました。

このような患者会が、I型糖尿病患者さんお一人おひとりの療養生活を豊かなものにする助けになれば幸いです。



I-DreaM岡山 運営スタッフ

当日のプログラム

- 14:00～14:05 顧問より挨拶 和田 淳先生(岡山大学 腎免疫内分泌代謝内科学)
- 14:05～14:20 医療関係者より情報提供
「自動運転に近づいた? 最新のインスリンポンプ療法について」
利根 淳仁(岡山済生会総合病院 糖尿病センター)
- 14:20～14:35 患者さんの体験談 Mさん
「I型糖尿病になった今 叶えたい夢」
- 14:35～15:05 特別講演 服部 麗先生(名古屋市立大学病院 消化器・代謝内科学)
「I型糖尿病で良かった人生の実現に向けて」
- 15:05～15:10 ～休憩～
- 15:10～15:55 グループディスカッション

【テーマ】 1、ヤング(妊娠・出産・学生・就職など) 2、血糖トレンド(持続血糖モニタリング)
3、インスリンポンプ 4、カーボカウント 5、その他

- 15:55～16:00 閉会挨拶 中塔 辰明(岡山済生会総合病院 糖尿病センター)

